

第 5 回 日本ライフスタイル医学会 学術集会研究発表報告

Research Excellence Award(優秀研究賞)受賞

2026年2月27日(金)から3月1日(日)にかけて、「第5回 日本ライフスタイル医学会 学術集会」がオンラインおよび慶應義塾大学信濃町キャンパス北里講堂において開催されました。本学術集会は「行動変容を促すライフスタイル医学の最前線 — エビデンスと実践 —」をテーマに実施され、活発な議論が行われました。本学術集会において、当室特任研究員の Ongoshi Anita による研究発表が高く評価され、Research Excellence Award(優秀研究賞)を受賞いたしました。

(発表概要)

◇ 演題名

Progress Evaluation of the Processed Food Industry in Japan towards a Healthy and Sustainable Food Environment
(健康で持続可能な食環境に向けた日本の加工食品産業の進捗評価)

◇ 発表形式

一般演題(口演)

◇ 発表者

Ongoshi Anita Nyaboke、西尾素子、瀧本秀美

(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所)

(発表主旨)

Access to Nutrition Initiative(ATNi)Global Index 2024 の各カテゴリ(ガバナンス、製品、マーケティング、表示等)の結果に基づき、日本企業の強みと弱みを整理し、現状と課題について発表した。

食品産業は製品開発、加工、市場での供給といった意思決定を通じて、人々の食生活に大きな影響を与える重要な役割を担っており、公衆衛生および食料システムの基盤が強固な日本において、企業のさらなる関与によって、より健康的で持続可能な食環境の実現が期待されることを強調した。

